

第21回インターフェックスジャパン出展のご案内

会期:2019年7月3日(水)~5日(金) 時間:10:00~18:00 (最終日は17:00まで)

会場:東京ビッグサイト 南展示棟 フラントエンジニアリングムーン 小間番号:**S6-33**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、弊社はこの度、下記の通り「第21回 インターフェックス ジャパン」に出展いたします。昨今の医薬品を中心としたライフサイエンス分野の動向をとらえ、千代田の幅広い取組みについてご覧いただきたく、ご案内申し上げますので関係者の方々をお誘い合わせの上、何卒弊社ブースへお越しくださいませよう、弊社一同、心よりお待ちしております。 敬具

出展内容のご紹介

【フシセンターション・展示】

千代田グループの最新の実績や、最先端のエンジニアリングの紹介など、8テーマについてブース内にてミニセッションでご紹介いたします。添付スケジュールをご参照のうえご来場賜りますようご案内申し上げます。

【出展社による製品・技術セミナー】

展示会場特設会場において、1時間の講演を行います。(受講無料)

こちらにも是非、お越し下さいますようご案内申し上げます。

■ 7月3日(水) 15:00~16:00

「抗体生産におけるコスト低減化実現のためのプロセス設計(2)」

抗体製造では連続生産による高効率、低コストなプロセスの構築に注目が集まっています。今回 ATF を用いた灌流培養と2本カラム法による連続 Batch Capturing を実験モデルで連結運転し、その有用性を評価した。効率化プロセス実現のための核となる要素技術であり、新しい Upstream の考え方を御提供します。

■ 7月4日(木) 13:40~14:40

「千代田化工建設のiPS細胞製造と品質評価/リユージョンの御紹介」

再生医療の実用化において、原料のひとつであるiPS細胞を安定した品質で製造することが実用化課題の1つです。エンジニアリングと細胞製造プロセス知見を切り口とする、この課題解決への弊社取り組みを御紹介します。

《お問い合わせ先》

千代田化工建設株式会社 社会環境・ライフサイエンス営業セクション

TEL : 045-225-7697

E-mail : eigyo2-2@chiyodacorp.com

インターフェックスジャパン事務局

第21回インターフェックスジャパン ミニセッションスケジュール

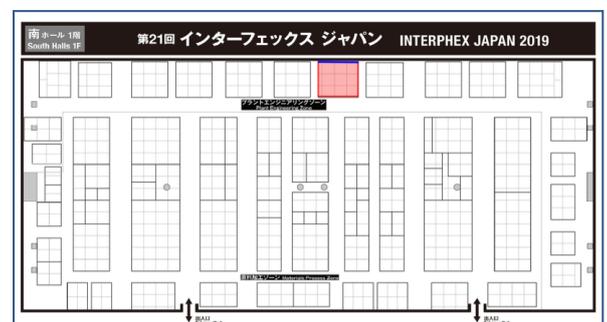
ミニセッションテーマ

- A** : 新総合研究所建設プロジェクト
- B** : 医薬品施設における空調エンジニアリング
- C** : 抗体連続生産における連続Batch Capturingの有用性
- D** : KPIでみる医薬品工場の競争力強化 ～労務費のマネジメント～
- E** : iPS細胞製造プロセスに向けた品質管理ソリューション
- F** : 低分子医薬品の連続フロー合成に向けた支援サービスの紹介
- G** : 中分子医薬品製造施設建設におけるポイント紹介
- H** : 医薬品製造分野におけるIoTの導入

実施時間	7月3日 (水)	7月4日 (木)	7月5日 (金)
10:30 ~ 10:45	A	A	A
11:00 ~ 11:15	B	E	B
11:30 ~ 11:45	C	H	C
12:00 ~ 12:45	実績DVD上映	実績DVD上映	実績DVD上映
13:00 ~ 13:15	A	A	A
13:30 ~ 13:45	E	G	E
14:00 ~ 14:30	D	D	D
14:45 ~ 15:00	F	F	F
15:15 ~ 15:30	G	C	G
15:45 ~ 16:00	H	B	H
16:15 ~ 16:30	E	E	A
16:45 ~ 17:00	A	A	
17:15 ~ 17:45	実績DVD上映	実績DVD上映	

《お問い合わせ先》

千代田化工建設株式会社 社会環境・ライフサイエンス営業セクション
 TEL : 045- 225 - 7697 E-mail : eigyo2-2@chiyodacorp.com



ミニセッション概要

A : 新総合研究所建設プロジェクト

様々な商品の開発を担う新総合研究所。コミュニケーションを向上と将来に向けた新しい技術を取り入れることが可能な環境づくり、新たな発見や独創的なアイデアを生み出せるための空間づくりに配慮しました。

B : 医薬品施設における空調エンジニアリング

医薬品施設の製造環境に欠かせない空調設備は稼働時に要求された性能を満たしているか検証が必須です。お客様の信頼性を高めるための検証と実績に基づく千代田の空調エンジニアリングについてご紹介します。

C : 抗体連続生産における連続Batch Capturingの有用性

抗体の連続生産においては、安定した連続灌流培養の実現と効率的なCapturing工程の確立、さらにこれらを連結する技術の実現が必須です。今回モデル実験系でこれを構築しましたのでご報告します。

D : KPIでみる医薬品工場の競争力強化 ～労務費のマネジメント～

医薬品工場の生産効率をマネジメントするにあたってはT(技術) Q(品質) D(納期) C(コスト)をKPI(Key Performance Indicator)によりバランスよく見ていく必要があります。今回は労務時間及び労務費の管理に関するKPIについて、その指標の持つ意味、適切なマネジメントサイクル、運用時の注意点等について考察します。

E : iPS細胞製造プロセスに向けた品質管理ソリューション

再生医療の実用化において、原料のひとつであるiPS細胞を安定した品質で製造することが実用化課題の1つです。エンジニアリングと細胞製造プロセス知見を切り口とする、この課題解決への弊社取り組みをご紹介します。

F : 低分子医薬品の連続フロー合成に向けた支援サービスの紹介

低分子医薬品の開発・製造において、安全性を確保しつつ、コスト削減や開発期間短縮が期待できる連続フロー合成技術が近年注目されています。この連続フロー合成の導入に向けた千代田の支援サービスについて、水素化反応用触媒開発の事例や、ベンチプラントでの連続運転の事例を交え、ご紹介いたします。

G : 中分子医薬品製造施設建設におけるポイント紹介

千代田はこれまでペプチド、核酸医薬品に代表される中分子医薬品工場の設計・施工実績を積み重ねてまいりました。これらの経験を踏まえ、施設の計画、設計における課題や、その解決に向けたポイントをご紹介します。

H : 医薬品製造分野におけるIoTの導入

昨今インターネット技術を応用したIoTがいろいろな分野で導入されています。このIoTを医薬品製造分野に導入する場合のメリットを紹介するとともに、注意点について考察します。